

特別プログラム

〔第1日 11月5日（木）〕

＜理事長講演＞ 第1会場「エミネンス」 13:00～13:30

「本学会が目指すもの」

座長：高橋 一司（東京都立神経病院脳神経内科）

演者：青木 正志（東北大学大学院医学系研究科神経内科学）

＜海外招待講演＜ASENT-JSNT Joint Lecture＞＞ 第1会場「エミネンス」 13:40～14:30

「ALS Screening Platform for Early Eligibility Detection (SPEED)」

座長：藤原 一男（福島県立医科大学医学部多発性硬化症治療学講座）

演者：Jennifer Morganroth (Sean M. Healey & AMG Center for ALS, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital ; Harvard Medical School, Boston, MA, USA)

＜2025年学会賞受賞講演＞ 第1会場「エミネンス」 15:30～16:20

座長：高橋 一司（東京都立神経病院脳神経内科）

- (1) 抗 Calcitonin gene-related peptide 抗体薬が適応と考えられた片頭痛患者の実臨床での評価方法と転帰
笠井 英世（昭和医科大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）
- (2) 多発性硬化症の治療標的となる病態機序の研究
門脇 淳（大阪大学医学系研究科神経内科学講座）
- (3) 神経治療における緩和ケア及び臨床倫理分野の発展への寄与
荻野美恵子（国際医療福祉大学医学部，現 東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学）

＜教育講演1＞ 第3会場「コンコードA」 9:00～9:30

「自己免疫性脳炎の診断と治療」

座長：蕨 陽子（東京都立神経病院脳神経内科）

演者：原 誠（日本大学医学部神経内科）

＜教育講演2＞ 第3会場「コンコードA」 9:30～10:00

「片頭痛」

座長：柴田 護（国際医療福祉大学市川総合病院脳神経内科）

演者：滝沢 翼（慶應義塾大学医学部神経内科）

＜教育講演3＞ 第3会場「コンコードA」 10:00～10:30

「神経疾患に関わる睡眠障害」

座長：宮本 智之（獨協医科大学埼玉医療センター，同脳神経内科）

演者：鈴木 圭輔（獨協医科大学脳神経内科）

＜教育講演4＞ 第3会場「コンコードA」 16:30～17:00

「CBD と PSP ～これまでと現在地～」

座長：白石 眞（聖マリアンナ医科大学脳神経内科学，パーキンソン病治療センター）

演者：村上 秀友（昭和医科大学医学部内科学講座脳神経内科学部門）

＜教育講演 5＞ 第3会場「コンコードA」 17:00～17:30

「脳卒中急性期治療とリハビリテーション」

座長：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学・神経内科学）

演者：大木 宏一（東京都済生会中央病院脳神経内科）

＜教育講演 6＞ 第3会場「コンコードA」 17:30～18:00

「筋ジストロフィーはどこまで治せるか：分子標的治療の現在地と将来展望」

座長：杉江 和馬（奈良県立医科大学医学部医学科脳神経内科学講座）

演者：中森 雅之（大阪大学大学院医学系研究科神経内科学）

＜シンポジウム 1＞ 第1会場「エミネンス」 9:00～10:30

「パーキンソン病創薬の再定義：生物学的層別化と革新的治験デザインの融合」

座長：渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）

服部 信孝（順天堂大学医学部脳神経内科）

- (1) パーキンソン病を生物学的に捉えることは可能か？

波田野 琢（順天堂大学医学部神経学講座）

- (2) Beyond α -Synuclein：併存病態を標的とした次世代 DMT 戦略

水谷 泰彰（藤田医科大学医学部脳神経内科学）

- (3) 1 剤逐次開発からの脱却— プラットフォーム試験と Adaptive Design をパーキンソン病創薬にどう翻訳するか—

前田 哲也（岩手医科大学医学部内科学講座脳神経内科・老年科分野）

＜シンポジウム 2＞ 第2会場「コンコードB」 9:00～10:30

「irAE の最新トピックス」

座長：鈴木 重明（東京都立神経病院脳神経内科）

谷口 洋（東京慈恵会医科大学附属柏病院脳神経内科）

- (1) irAE 総論：病態機序のアップデート

北野 滋久（がん研究会有明病院先端医療開発科）

- (2) 免疫チェックポイント阻害と下垂体 irAE

岩間信太郎（名古屋大学医学部附属病院糖尿病・内分泌内科）

- (3) 免疫チェックポイント阻害薬による Triple M 症候群

羽尾 暁人（東京都立神経病院脳神経内科）

- (4) リウマチ専門医の視点から紐解く神経・筋 irAE の病態と治療：多施設共同研究が拓く新たな支持療法の展望

村上 孝作（京都大学医学部附属病院免疫・膠原病内科，京都大学大学院医学研究科附属がん免疫総合研究センター）

＜シンポジウム 3＞ 第5会場「錦」 9:00～10:30

「脳卒中と遺伝性疾患のインターセクション— 遺伝性脳小血管病の最新知見」

座長：平野 照之（杏林大学医学部脳卒中医学・神経内科学）

猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳血管部門脳神経内科）

- (1) 次世代シーケンス時代の遺伝性脳小血管病診療と国際研究基盤

猪原 匡史（国立循環器病研究センター脳血管部門脳神経内科）

- (2) CADASIL：NOTCH3 変異部位による臨床像の多様性と最新の治療的アプローチ
尾原 知行（京都府立医科大学脳神経内科）
- (3) HTRA1 と脳小血管病：希少疾患から一般集団へ広がるその病態的意義
安藤昭一郎（新潟大学医歯学総合病院脳神経内科）
- (4) COL4A1/A2 関連脳小血管病変—基底膜障害による脳卒中和白質病変
福本 竜也（徳島大学病院脳神経内科）
- (5) APP 変異による脳アミロイド血管症：脳出血と認知症の交点
薬師寺祐介（関西医科大学神経内科学講座）

<シンポジウム 4> 第 6 会場「花 A」 9：00～10：30

「遺伝性筋疾患の治療アップデート：病態メカニズムから核酸医薬・遺伝子治療と日常診療へ」

座長：尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院）

青木 吉嗣（国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部）

- (1) 遺伝性筋疾患に対する筋再生促進治療の未来
深田宗一郎（大阪大学大学院薬学研究科）
- (2) 筋強直性ジストロフィー 1 型に対する骨格筋・心筋指向性 siRNA を用いた治療戦略
本橋 紀夫（国立精神・神経医療研究センター神経研究所遺伝子疾患治療研究部）
- (3) 小児遺伝性筋疾患の治療戦略アップデート—福山型先天性筋ジストロフィーを中心に—
石垣 景子（東京女子医科大学医学部小児科）
- (4) 遺伝性筋疾患に対する遺伝子治療の現状と安全性
岡田 尚巳（東京大学医科学研究所遺伝子・細胞治療センター）

<シンポジウム 5 < PMDA Joint Symposium >> 第 7 会場「花 D」 9：00～10：30

「日本の神経治療開発の現在地 今我々は何ができるか、何をすべきか」

座長：中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門）

宇山 佳明（医薬品医療機器総合機構）

- (1) 最近の神経疾患領域における医薬品開発の動向 ～ PMDA の立場から～
吉田 智志（独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部）
- (2) 日本の神経治療開発の現在地 今我々は何ができるか、何をすべきか
勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

パネリスト：松田 尚人（バイオジェンジャパン株式会社開発本部）

平山 剛久（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野）

吉田 智志（独立行政法人医薬品医療機器総合機構新薬審査第三部）

<シンポジウム 6> 第 1 会場「エミネンス」 16：30～18：00

「CIDP の病態を多方面から語り尽くす」

座長：三澤 園子（東京科学大学脳神経病態学分野脳神経内科）

桑原 聡（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

- (1) MS・NMO の研究からひも解く CIDP の病態
天野永一郎（東京科学大学脳神経病態学分野脳神経内科）
- (2) CIDP の疾患活動性をどう捉えるか：バイオマーカーの現在
深見 祐樹（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学，名古屋大学糖鎖生命コア研究所）
- (3) 神経生理・画像から迫る CIDP の病態
水地 智基（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

- (4) 分子標的薬への反応性から推察する CIDP の病態

吉川 正章 (佐賀大学医学部脳神経内科)

<シンポジウム 7 <歴史セッション>> 第 5 会場「錦」 16:30 ~ 18:00

「神経疾患治療の歴史と変遷」

座長：山脇 健盛 (福島生協病院脳神経内科)

福武 敏夫 (亀田メディカルセンター脳神経センター脳神経内科)

- (1) 脳卒中の歴史と治療の変遷

山村 修 (福井大学医学部地域医療推進講座)

- (2) 片頭痛治療の歴史と変遷

柴田 護 (国際医療福祉大学市川総合病院脳神経内科)

- (3) てんかんの歴史

赤松 直樹 (国際医療福祉大学医学部脳神経内科)

- (4) パーキンソン病治療の歴史と変遷

山脇 健盛 (福島生協病院脳神経内科)

<シンポジウム 8 <ASENT-JSNT Joint Symposium><国際化委員会企画シンポジウム>>

第 7 会場「花 D」 16:30 ~ 18:00

「Building International Framework for ALS Drug Development」

座長：藤本 陽子 (ロート製薬株式会社)

佐久嶋 研 (北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構プロモーションユニット臨床研究開発センター)

- (1) Global Framework for ALS Drug Development : Infrastructure, Innovation, and Early Intervention

Jennifer Morganroth (Sean M. Healey & AMG Center for ALS, Department of Neurology, Massachusetts General Hospital ; Harvard Medical School, Boston, MA, USA)

- (2) Advancing ALS Drug Development in Japan

Osamu Kano (Department of Neurology, Toho University School of Medicine Japan)

- (3) Oncology Drug Development Initiatives in Japan and Asia

Kenichi Nakamura (National Cancer Center Japan)

<マラソンレクチャー 1> 第 4 会場「コンコード C」 9:00 ~ 9:30

「脳画像はどこまで病態を映せるか」

座長：藤田 浩司 (徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野)

演者：島田 齊 (新潟大学脳研究所ブレインヘルスケア領域脳解析技術応用学分野, 量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター)

<マラソンレクチャー 2> 第 4 会場「コンコード C」 9:30 ~ 10:00

「遺伝学的検査」

座長：高橋 祐二 (国立精神神経医療研究センター)

演者：土井 宏 (横浜市立大学医学部神経内科学・脳卒中医学)

＜マラソンレクチャー 3＞ 第4会場「コンコードC」 10:00～10:30

「疾患概念確立・治療最適化を目指した診断薬の開発と社会実装：シーズから保険収載への道筋」

座長：河内 泉（新潟大学医歯学系医学系列・医歯学総合病院脳神経内科）

演者：緒方 英紀（九州大学病院脳神経内科）

＜マラソンレクチャー 4＞ 第4会場「コンコードC」 16:30～17:00

「Liquid biomarker」

座長：戸田 達史（国立精神・神経医療研究センター病院）

演者：奥住 文美（順天堂大学神経学講座）

＜マラソンレクチャー 5＞ 第4会場「コンコードC」 17:00～17:30

「Proteinopathyの神経病理」

座長：高橋 牧郎（関西医科大学医学部神経難病医学講座）

演者：高尾 昌樹（国立精神・神経医療研究センター病院）

＜マラソンレクチャー 6＞ 第4会場「コンコードC」 17:30～18:00

「明日から役立つ保険診療の最新情報」

座長：武田 篤（順天堂大学大学院医学研究科共同研究講座，国立病院機構仙台西多賀病院）

演者：荻野美恵子（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学，東京大学医学系研究科公共健康医学専攻，上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座）

＜神経治療とケアの参加型ワークショップ 1＞ 第6会場「花A」 16:30～18:00

「パーキンソン病の多職種連携はどうあるべきかーパーキンソン病センターのあるべき姿を考えるー」

座長：関 守信（慶應義塾大学医学部神経内科）

藤岡 伸助（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

ファシリテーター：上野 真一（順天堂大学神経学講座・脳神経内科医）

馬場 徹（国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科）

白石 眞（聖マリアンナ医科大学脳神経内科学，パーキンソン病治療センター）

長谷川有香（国立病院機構西新潟中央病院，パーキンソン病センター）

小尻 智子（順天堂大学医学部附属順天堂医院看護部，パーキンソン病センター）

諸澤由利子（聖マリアンナ医科大学病院）

花井亜紀子（国立精神・神経医療研究センター病院医療連携福祉相談部/看護部）

上田 素子（NHO 鳥取医療センター・看護部，パーキンソン病センター）

三枝 洋喜（慶應義塾大学医学部リハビリテーション医学教室）

菊地 豊（脳血管研究所美原記念病院パーキンソン病・運動障害センター）

高見 純司（村上華林堂病院リハビリテーション科）

澤田 誠（令和健康科学大学リハビリテーション学部理学療法学科）

安高 勇気（国際医療福祉大学福岡薬学部）

山本 恭平（JA 愛知厚生連安城更生病院薬剤部）

小谷 宙（慶應義塾大学病院薬剤部・薬剤師，パーキンソン病センター）

木村美紗子（熊本機能病院薬剤部）

別府 悦男（慶應義塾大学病院食養管理室）

梅本 丈二（福岡大学病院摂食嚥下センター）

〔第2日 11月6日（金）〕

＜教育講演7＞ 第3会場「コンコードA」 9:00～9:30

「プリオン病」

座長：高尾 昌樹（国立精神・神経医療研究センター病院）

演者：佐藤 克也（長崎大学大学院・医歯薬学研究科保健科学分野）

＜教育講演8＞ 第3会場「コンコードA」 9:30～10:00

「てんかんと紛らわしい“発作”の診断と治療—tipsとpitfall」

座長：赤松 直樹（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

演者：宇佐美清英（京都大学医学部附属病院検査部）

＜教育講演9＞ 第3会場「コンコードA」 10:00～10:30

「神経難病患者の災害対策：個別避難計画・事前準備の重要性」

座長：和泉 唯信（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野）

演者：宮地 隆史（国立病院機構柳井医療センター脳神経内科）

＜シンポジウム9＞ 第1会場「エミネンス」 9:00～10:30

「神経疾患創薬におけるバイオマーカーの立ち位置」

座長：波田野 琢（順天堂大学医学部神経学講座）

須田 智（日本医科大学脳神経内科）

- (1) 脳梗塞の創薬開発におけるバイオマーカーの役割と展望

須田 智（日本医科大学脳神経内科）

- (2) 希少疾患創薬におけるバイオマーカー：経験の共有と未来への提言

三澤 園子（東京科学大学脳神経病態学分野脳神経内科）

- (3) ALSの創薬開発におけるバイオマーカーの立ち位置

狩野 修（東邦大学医学部脳神経内科）

- (4) シヌクレイノパチーの創薬開発におけるバイオマーカーの立ち位置

波田野 琢（順天堂大学医学部神経学講座）

＜シンポジウム10＞ 第2会場「コンコードB」 9:00～10:30

「重症筋無力症における分子標的薬 update」

座長：鷗沢 顕之（千葉大学脳神経内科）

長根百合子（総合花巻病院脳神経内科）

- (1) 重症筋無力症治療におけるC5阻害薬の現状と課題

吉村 俊祐（長崎大学病院脳神経内科）

- (2) 重症筋無力症におけるFcRn阻害薬治療の最適化を考える

藤井ちひろ（関西医科大学総合医療センター脳神経内科）

- (3) 重症筋無力症におけるB細胞標的治療

赤嶺 博行（琉球大学大学院医学研究科循環器・腎臓・神経内科学講座）

- (4) 重症筋無力症における形質細胞標的薬・CAR-T療法 update

安田 真人（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学，千葉大学医学部附属病院総合医療教育研修センター）

<シンポジウム 11> 第5会場「錦」 9:00～10:30

「片頭痛の最新治療 Up to Date」

座長：永田栄一郎（東海大学脳神経内科）

鈴木 則宏（湘南慶育病院）

- (1) トリプタン・ジタン
石崎公郁子（偕行会リハビリテーション病院内科（神経内科））
- (2) CGRP 関連抗体薬
滝沢 翼（慶應義塾大学医学部神経内科）
- (3) ゲパント（CGRP 受容体拮抗薬）の実臨床における使い方を考える
今井 昇（静岡赤十字病院脳神経内科頭痛センター）
- (4) 片頭痛に対するニューロモデュレーション治療の現在地
加納 裕也（豊川市民病院脳神経内科，名古屋市立大学大学院医学研究科神経内科学）

<シンポジウム 12> 第6会場「花A」 9:00～10:30

「後天性筋疾患に関する諸問題」

座長：西野 一三（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部）

杉江 和馬（奈良県立医科大学 医学部医学科脳神経内科学講座）

- (1) 炎症性筋疾患の自己抗体
鈴木 重明（東京都立神経病院脳神経内科）
- (2) 皮膚筋炎以外の筋炎での皮膚症状とその病態
倉重 毅志（国立病院機構呉医療センター脳神経内科）
- (3) 5年間で進行した SLONM-MGUS に対し VRd 療法で治療を試みた 72 歳男性例
小松 大樹（東京大学医学部附属病院脳神経内科）
- (4) 薬剤性ミオパチーに関する諸問題
馬場 悠輔（国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第一部，東京大学大学院医学系研究科脳神経医学専攻博士課程）

<シンポジウム 13 <地域医療部会ワーキンググループ企画シンポジウム>>

第7会場「花D」 9:00～10:30

「在宅医療における脳神経内科医の役割：源流から最前線まで」

座長：伊藤 瑞規（藤田医科大学ばんだね病院脳神経内科）

尾方 克久（国立病院機構東埼玉病院）

- (1) 東京都立神経病院の在宅訪問診療：神経難病地域医療の源流
清水 俊夫（東京都立神経病院，東大和病院脳神経内科）
- (2) 神経内科医が在宅診療に関わるということ
荻野美恵子（東海大学医学部基盤診療学系医療倫理学，東京大学医学系研究科公共健康医学専攻，上智大学グリーンケア研究所グリーンケア人材養成講座）
- (3) 脳神経内科医の訪問診療：地域医療の最前線から
余郷麻希子（医療法人社団慈創会曙ホームクリニック）

<シンポジウム 14 <創業推進委員会企画シンポジウム>> 第1会場「エミネンス」 15:20～16:50

「脳神経領域における AI 創薬のいまと未来」

座長：勝野 雅央（名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学）

藤本 陽子（ロート製薬株式会社）

- (1) 治験推進のための AI 創薬と我が国の政策
荒木 康弘 (厚生労働省医政局研究開発政策課治験推進室)
- (2) 凝集タンパク質の構造解析に基づく AI 創薬
富田 泰輔 (東京大学薬学部)
- (3) AI 細胞形態解析による神経変性疾患の治療法開発
飯田 円 (名古屋大学大学院医学系研究科神経内科学)
- (4) Wet と Dry の融合が実現するデータドリブン創薬加速：中外製薬 MALEXA の取り組み
武藤裕紀 (中外製薬株式会社研究本部)

<シンポジウム 15> 第2会場「コンコード B」 15:20～16:50

「認知症診療の研究のフロンタライン～リアルワールドから将来を見据えて～」

座長：小野賢二郎 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳神経内科学)

富本 秀和 (三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学)

- (1) アルツハイマー病の診療・研究のオーバービュー
小野賢二郎 (金沢大学大学院医薬保健学総合研究科脳神経内科学)
- (2) 血液バイオマーカーにより変貌する認知症診療の近未来
池内 健 (新潟大学脳研究所生命科学リソース研究センター)
- (3) レカネマブ・ドナネマブ治療の最前線：専門外来におけるリアルワールドエビデンス
篠原もえ子 (金沢大学医学系脳神経内科学)
- (4) アルツハイマー病における抗 A β 抗体療法の臨床実装から抗タウ抗体治療へ
伊東 大介 (慶應義塾大学医学部神経内科 / メモリーセンター)
- (5) “診断後”を支える認知症画像診断
島田 斉 (新潟大学脳研究所ブレインヘルスケア領域脳解析技術応用学分野, 量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター)

<シンポジウム 16> 第5会場「錦」 15:20～16:50

「パーキンソン症候群に対する新たな治療戦略の可能性」

座長：関 守信 (慶應義塾大学医学部神経内科)

長谷川隆文 (国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科)

- (1) Primary tauopathy に対する病態修飾療法の現状と課題
饗場 郁子 (国立病院機構東名古屋病院脳神経内科)
- (2) アクアポリン 4 と神経変性疾患の病態生理
安井 正人 (慶應義塾大学医学部薬理学教室)
- (3) 神経炎症およびミクログリアを標的としたパーキンソン症候群の新規治療戦略
松瀬 大 (九州大学大学院医学研究院神経内科学)

<シンポジウム 17> 第7会場「花 D」 15:20～16:50

「慢性炎症と神経変性」

座長：山野 嘉久 (聖マリアンナ医科大学脳神経内科, 聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター病因病態解析部門)

下畑 享良 (岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野)

- (1) 認知症におけるウイルスと慢性炎症
森 泰子 (岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野)

(2) パーキンソン病における α シヌクレインの伝播

奥住 文美（順天堂大学神経学講座）

(3) HAM における慢性炎症と神経変性のクロストーク：病態修飾療法への新戦略

山野 嘉久（聖マリアンナ医科大学脳神経内科，聖マリアンナ医科大学難病治療研究センター病因病態解析部門）

(4) MS におけるウイルスと慢性炎症

大橋 高志（鎌ヶ谷総合病院脳神経内科）

(5) long COVID に伴う神経炎症と神経変性

下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

＜マラソンレクチャー 7＞ 第3会場「コンコードA」 15：20～15：50

「てんかん診療アップデート—新薬の特性理解から重積・希少疾患・高齢者診療へのアプローチ—」

座長：下竹 昭寛（宇多野病院脳神経内科）

演者：本多 正幸（東京都立神経病院脳神経内科）

＜マラソンレクチャー 8＞ 第3会場「コンコードA」 15：50～16：20

「脳神経内科医に役立つ小児神経疾患の知識」

座長：齊藤 勇二（東京都立神経病院脳神経内科）

演者：柏井 洋文（東京都立神経病院神経小児科）

＜マラソンレクチャー 9＞ 第3会場「コンコードA」 16：20～16：50

「筋電図と神経・筋超音波の融合—形態と機能の統合診断へ—」

座長：澁谷 和幹（千葉大学大学院医学研究院脳神経内科学）

演者：関口 兼司（神戸大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

＜メディカルスタッフレクチャー 1＞ 第4会場「コンコードC」 9：00～9：30

「ALS の最新治療とケア」

座長：漆谷 真（滋賀医科大学脳神経内科学講座）

演者：熱田 直樹（愛知医科大学医学部神経内科）

＜メディカルスタッフレクチャー 2＞ 第4会場「コンコードC」 9：30～10：00

「神経疾患における栄養療法の実践と新知見」

座長：坪井 義夫（順天堂大学大学院医学研究科 PD 長期観察共同研究講座）

演者：藤岡 伸助（国際医療福祉大学医学部脳神経内科）

＜メディカルスタッフレクチャー 3＞ 第4会場「コンコードC」 10：00～10：30

「神経難病の緩和ケアと倫理」

座長：木村 暁夫（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

演者：杉浦 真（JA 愛知厚生連安城更生病院脳神経内科）

＜メディカルスタッフレクチャー 4＞ 第4会場「コンコードC」 15：20～15：50

「しびれを見抜く力を高める：症状理解と最新研究から学ぶ末梢神経障害」

座長：小池 春樹（佐賀大学脳神経内科）

演者：竹下 幸男（山口大学医学部神経筋難病治療学講座）

<メディカルスタッフレクチャー 5> 第4会場「コンコードC」 15:50～16:20

「けいれん・てんかん」

座長：池田 昭夫（医仁会武田総合病院神経内科てんかん診療センター，京都大学大学院医学研究科臨床神経学）

演者：渡邊さつき（横浜こころと脳波・てんかんのクリニック，埼玉医科大学病院神経精神科・心療内科）

<メディカルスタッフレクチャー 6> 第4会場「コンコードC」 16:20～16:50

「不随意運動のみかた」

座長：富山 誠彦（弘前大学大学院医学研究科脳神経内科学講座）

演者：濱田 雅（東京大学大学院医学系研究科神経内科）

<神経治療とケアの参加型ワークショップ 2> 第6会場「花A」 15:20～16:50

「ALSの経過に沿って考える治療とケアートラジェクトリーに沿った介入のタイミング」

座長：森島 亮（東京都立神経病院脳神経内科）

ミニレクチャー：木田 耕太（東京都立神経病院脳神経内科）

ファシリテーター：堀越 桂（埼玉精神神経センター脳神経内科）

船井明日香（東京都立神経病院脳神経内科）

伊利 孝宣（東京都立神経病院脳神経内科）

戸谷 圭吾（東京都立神経病院脳神経内科）

中山 優季（東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット）

松田 千春（東京都医学総合研究所難病ケア看護ユニット）

石田 千春（東京都立神経病院看護科）

伊藤 歩（東京都立神経病院看護科）

〔第3日 11月7日（土）〕

＜教育講演 10＞ 第3会場「コンコードA」 9:00～9:30

「パーキンソン病新ガイドライン：改訂のポイント」

座長：下 泰司（順天堂大学医学部附属病院練馬病院脳神経内科）

演者：長谷川隆文（国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科）

＜教育講演 11＞ 第3会場「コンコードA」 9:30～10:00

「膠原病に伴う神経合併症」

座長：竹内 英之（国際医療福祉大学大学院医学研究科脳神経内科学）

演者：漆葉 章典（信州大学医学部脳神経内科，リウマチ・膠原病内科）

＜教育講演 12＞ 第3会場「コンコードA」 10:00～10:30

「特発性正常圧水頭症（Hakim 病）と神経変性疾患は comorbidity を前提に共に治療を目指すべきである」

座長：饗場 郁子（国立病院機構東名古屋病院脳神経内科）

演者：伊関 千書（山形保健医療大学理学療法学科）

＜シンポジウム 18＞ 第1会場「エミネンス」 9:00～10:30

「神経免疫疾患における B 細胞除去療法」

座長：中島 一郎（東北医科薬科大学医学部脳神経内科学）

田原 将行（独立行政法人国立病院機構宇多野病院多発性硬化症センター）

(1) 視神経脊髄炎スペクトラム障害における B 細胞除去療法

越智 博文（愛媛大学大学院難病・高齢医療学）

(2) 多発性硬化症における B 細胞除去療法

中原 仁（慶應義塾大学医学部神経内科）

(3) 重症筋無力症における B 細胞除去療法

檜沢 公明（総合花巻病院脳神経内科）

(4) 慢性炎症性脱髄性多発ニューロパチーにおける B 細胞除去療法

小池 春樹（佐賀大学脳神経内科）

＜シンポジウム 19＞ 第2会場「コンコードB」 9:00～10:30

「核医学による病態理解から臨床応用再考」

座長：鈴木 正彦（東京慈恵会医科大学リハビリテーション医学講座）

三品 雅洋（独立行政法人労働者健康安全機構東京労災病院）

(1) MIBG シンチグラフィから診るレヴィー小体病

中嶋 憲一（金沢大学）

(2) 核医学から読み解くパーキンソン病の病態多様性と個別化医療

馬場 徹（国立病院機構仙台西多賀病院脳神経内科）

(3) PET を基盤とした認知症の背景病理を包括的に評価する血液バイオマーカーシステムの開発
互 健二（量子科学技術研究開発機構量子医科学研究所脳機能イメージング研究センター）

(4) 核医学画像から考える iNPH の背景病理と病態

石井 一成（神戸大学大学院医学系研究科放射線医学分野）

(5) アミロイド PET up to date

石井 賢二（東京都健康長寿医療センター）

<シンポジウム 20> 第5会場「錦」 9:00～10:30

「回復期以降の薬物治療と医療連携」

座長：竹川 英宏（獨協医科大学病院脳卒中センター）

豊田 一則（国立循環器病研究センター脳血管部門）

(1) 回復期以降の抗血栓療法

河野 浩之（杏林大学医学部脳卒中医学）

(2) 脳卒中再発予防のための血圧管理：回復期・維持期（生活期）を中心に

古賀 政利（国立循環器病研究センター脳血管内科）

(3) 脳卒中患者・家族への支援

藤本 茂（自治医科大学内科学講座神経内科学部門）

(4) MSW からみた多職種連携と病院間連携—Bridging Cure & Care の視点から—

新井 信裕（獨協医科大学病院地域連携・患者サポートセンター医療福祉相談部門）

<シンポジウム 21 <臨床試験関連企画シンポジウム>> 第6会場「花A」 9:00～10:30

「臨床試験を実施するための制度・支援・契約について」

座長：佐久嶋 研（北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構プロモーションユニット臨床研究開発センター）

橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部，名古屋大学医学部医学系研究科臨床研究教育学）

(1) 難病対策の現状について

小関 昭仁（厚生労働省健康・生活衛生局難病対策課）

(2) 医師主導治験・臨床試験に活用できる AMED の事業，実用化支援のご紹介

吉田 愛（日本医療研究開発機構研究開発戦略推進部研究開発企画課難病グループ）

(3) 医師主導治験の契約実務

小池 俊明（北海道大学病院医療・ヘルスサイエンス研究開発機構臨床研究開発センター）

(4) ARO による臨床試験支援体制の構築 —名古屋大学の実例—

橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部，名古屋大学医学部医学系研究科臨床研究教育学）

<シンポジウム 22 <ガイドライン統括委員会企画シンポジウム 標準的神経治療 片側顔面痙攣>>

第7会場「花D」 9:00～10:30

「エビデンスが限られる領域における，診療標準化への構造化アプローチ」

座長：金 剛（静岡県立総合病院脳神経内科）

(1) 片側顔面痙攣の疾患概念と診療標準化への構造化アプローチ

金 剛（静岡県立総合病院脳神経内科）

(2) 一次性片側顔面痙攣の治療アルゴリズムの考え方

中村 雄作（りんくう総合医療センター脳神経内科）

(3) CQ1 ボツリヌス毒素

阿部 剛典（中村記念病院脳神経内科）

(4) CQ2 内服薬は有効か？：きわめて少ないエビデンスの場合の，エビデンスの統合

村瀬 永子（国立病院機構奈良医療センター脳神経内科）

(5) 片側顔面痙攣に対する微小血管減圧術の有効性と安全性：システマティックレビューとメタ解析

戸田 弘紀（医学研究所北野病院脳神経外科）

- (6) 片側顔面痙攣ガイドライン CQ4 リハビリテーションその他について
林 明人（順天堂大学医学部脳神経内科）
- (7) 診療ガイドラインにおける関連学会との連携と外部評価
小島原典子（静岡社会健康医学大学院大学）

<シンポジウム 23> 第1会場「エミネンス」 14:10～15:40

「ALS 診療の Next Stage：課題から解決戦略へ」

座長：平山 剛久（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野）

熱田 直樹（愛知医科大学医学部神経内科）

- (1) ALS 診療の実際：体制作りの基本と工夫
平山 剛久（東邦大学医学部内科学講座神経内科学分野）
- (2) ALS 診療における遠隔医療とデジタル革命
岩田 育子（北海道大学病院軽度認知障害センター，北海道大学神経内科）
- (3) ALS 評価方法のパラダイムシフト
小早川優子（九州大学病院 ARO 次世代医療センター，九州大学大学院医学研究院神経内科学分野）
- (4) 家族性 ALS レジストリ J-FAST の戦略：バイオマーカーとレスポンス解析
鈴木 直輝（東北大学大学院医学系研究科臨床障害学，東北大学大学院医学系研究科神経内科学）
- (5) ALS におけるバイオマーカーの最前線：課題と社会実装への戦略
藤田 浩司（徳島大学大学院医歯薬学研究部臨床神経科学分野）

<シンポジウム 24> 第2会場「コンコード B」 14:10～15:40

「小脳失調症の最新診療を理解する」

座長：下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）

- (1) 遺伝性脊髄小脳変性症に対する疾患修飾薬開発について
石川 欽也（東京科学大学大学院医歯学総合研究科ゲノム健康医療学分野，東京科学大学東京科学大学病院脳神経内科，東京科学大学大学院医歯学総合研究科脳神経病態学分野）
- (2) 多系統萎縮症の病態と疾患修飾療法の現状
渡辺 宏久（藤田医科大学医学部脳神経内科学）
- (3) 自己免疫性小脳失調症の診断基準の現状
木村 暁夫（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）
- (4) アルコール性小脳変性症の現状と課題
下畑 享良（岐阜大学大学院医学系研究科脳神経内科学分野）

<シンポジウム 25> 第5会場「錦」 14:10～15:40

「Charcot-Marie-Tooth 病の治療をめざして」

座長：高嶋 博（鹿児島大学脳神経内科・老年病学）

植田 光晴（熊本大学病院脳神経内科）

- (1) CMT / 遺伝性ニューロパチーの原因と病態—治療研究への展望—
樋口雄二郎（鹿児島大学脳神経内科）
- (2) CMT の治療効果判定に適した評価法
能登 祐一（京都府立医科大学大学院医学研究科脳神経内科学）

- (3) 核酸医薬による Charcot-Marie-Tooth 病の治療を目指して

桑原 宏哉 (東京科学大学脳神経病態学分野 (脳神経内科), 東京科学大学核酸・ペプチド創薬治療研究センター (TIDE))

<シンポジウム 26> 第 6 会場「花 A」 14:10 ~ 15:40

「神経内科における東洋医学」

座長: 荒木 信夫 (よみうりランド慶友病院)

山口 智 (埼玉医科大学東洋医学科)

- (1) 脳神経内科の漢方入門—頻用処方から学ぶ

村松 慎一 (自治医科大学地域医療学センター東洋医学部門)

- (2) 頭痛における漢方診療—CGRP への作用を考慮した漢方頭痛診療—

光藤 尚 (埼玉医科大学東洋医学科 (脳神経内科兼任))

- (3) 認知症とパーキンソン病に対する漢方治療

中江 啓晴 (済生会横浜市南部病院脳神経内科)

- (4) 末梢性顔面神経麻痺に対する鍼治療のエビデンスと実際

堀部 豪 (埼玉医科大学病院東洋医学科, 埼玉医科大学大学院医学研究科博士課程臨床医学研究系専攻内科学 (神経内科))

<マラソンレクチャー 10> 第 3 会場「コンコード A」 14:10 ~ 14:40

「災害・テロリズムと神経治療—地下鉄サリン事件から 30 年余を経て」

座長: 野川 茂 (東海大学医学部付属八王子病院脳神経内科)

演者: 野崎 博之 (川崎市立川崎病院内科)

<マラソンレクチャー 11> 第 3 会場「コンコード A」 14:40 ~ 15:10

「頭蓋頸椎移行部の脊髄動静脈瘻によるうっ血性脊髄症: 脊髄炎との鑑別診断と治療」

座長: 安藤 哲朗 (亀田脳神経センター脳神経内科)

演者: 高井 敬介 (東京都立神経病院脳神経外科)

<マラソンレクチャー 12> 第 3 会場「コンコード A」 15:10 ~ 15:40

「診断・治療につながる高次脳機能障害のみかた」

座長: 櫻井 靖久 (三井記念病院健康管理科)

演者: 小林 俊輔 (帝京大学医学部脳神経内科)

<メディカルスタッフレクチャー 7> 第 4 会場「コンコード C」 9:00 ~ 9:30

「神経疾患の転倒予防—多職種で楽しく多面的な介入をするために—」

座長: 赫 寛雄 (東京医科大学神経学分野)

演者: 饗場 郁子 (国立病院機構東名古屋病院脳神経内科)

<メディカルスタッフレクチャー 8> 第 4 会場「コンコード C」 9:30 ~ 10:00

「失神・めまい・立ちくらみ; 自律神経機能検査」

座長: 朝比奈正人 (金沢医科大学脳神経内科)

演者: 中村 友彦 (浜松医科大学医学部附属病院脳神経内科)

＜メディカルスタッフレクチャー 9＞ 第4会場「コンコードC」 10:00～10:30

「神経疾患における嚥下造影検査のコツとピットフォール」

座長：木田 耕太（東京都立神経病院脳神経内科）

演者：上羽 瑠美（東京大学摂食嚥下センター，東京大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科）

＜メディカルスタッフレクチャー 10＞ 第4会場「コンコードC」 14:10～14:40

「多発性硬化症（MS）と視神経脊髄炎スペクトラム障害（NMOSD）の最新治療とケア」

座長：中原 仁（慶應義塾大学医学部神経内科）

演者：磯部 紀子（九州大学大学院医学研究院神経内科学）

＜メディカルスタッフレクチャー 11＞ 第4会場「コンコードC」 14:40～15:10

「レビー小体型認知症に対する5領域からのアプローチ：認知症疾患診療ガイドラインを踏まえて」

座長：富本 秀和（三重大学大学院医学系研究科神経病態内科学）

演者：藤城 弘樹（名古屋大学大学院医学系研究科精神医療学）

＜メディカルスタッフレクチャー 12＞ 第4会場「コンコードC」 15:10～15:40

「パーキンソン病リハビリテーション～長期経過を見据えた継続的アプローチ～」

座長：市川 忠（埼玉県総合リハビリテーションセンター脳神経内科）

演者：三原 雅史（川崎医科大学神経内科学）

＜臨床研究ワークショップ＞ 第8会場「グレース」 13:00～17:00

「臨床研究ワークショップアドバンス」

座長：鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター先端医療開発推進センター）

橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部，名古屋大学医学部医学系研究科臨床研究教育学）

(1) 臨床研究における PICO/PECO 作成の基本と実践

橋詰 淳（名古屋大学医学部附属病院先端医療開発部，名古屋大学医学部医学系研究科臨床研究教育学）

(2) CtQ Factor の検討に向けた解説

中村 治雅（国立精神・神経医療研究センター病院臨床研究・教育研修部門）

(3) 臨床研究ワークショップアドバンス

鈴木 啓介（国立長寿医療研究センター先端医療開発推進センター）

＜第21回 日本神経疾患音楽療法研究会＞ 第8会場「グレース」 9:00～12:00

「神経疾患におけるデジタル音楽療法」

大会長：林 明人（順天堂大学）

一般演題

「ALSと共に生きる私の幸せのレシピ」

座長：近藤 清彦（日本神経疾患音楽療法研究会代表世話人）

演者：赤沼さち子（日本ALS協会副会長）

特別講演

「音楽と対話のあいだに ～神経難病患者の心理を知り、ともに歩むために～」

座長：吉井 文均（東海大学）

演者：加戸 敬子（大阪成蹊大学教育学部，国立病院機構刀根山医療センター脳神経内科音楽療法士）

シンポジウム

「神経疾患におけるデジタル音楽療法—エビデンスから社会実装へ—」

座長：林 明人（順天堂大学）

- （1）パーキンソン病に対する音楽療法のアプリ：実装と課題
権藤英美里（順天堂大学脳神経内科，音楽療法士）
- （2）認知機能低下を伴うパーキンソン病に対するオンライン音楽療法
樽野 陽亮（山梨大学大学院総合研究部 神経内科学）
- （3）デジタル音楽療法を日常に届ける — アプリ開発者から見た AgeTech と社会実装
東海 和豊（株式会社テラーノベル）